

中部圏地域創造ファンドより



休眠預金による助成事業を募集します

1 チーム
2,850 万円
3 年間上限

テーマ

地方都市・農山村における コミュニティの持続的発展 ～地域社会の底力発揮～

地方都市・農山村が直面している
地域課題の解決を図り、新たな豊かさを備えた
コミュニティの持続的発展を目指す**チーム活動**を支援します。

対象となる事業 1 ~ 3 全てに当てはまる事業

1

地域資源の活用

例 自然 / 歴史 / 文化環境保全、
域外交流、移住促進、観光施設整備

地域産業おこし

例 地域物産販売、観光事業、
ソーシャルビジネス、テレワーク活用

生活環境の改善

例 子育て支援、高齢者支援、
移動支援、多文化共生

上記（いずれか、または複数）の分野に焦点を当て、多角的な視点から支援活動を展開する活動

2

ビジネス展開可能な支援活動の検討・始動を行い、多様な資金確保を道筋を立てる活動

3

地域社会とのつながりを強め、持続的な活動を支え、事業のビジネス化も
支援する仕組み（＝コミュニティプラットフォーム）の構築に取り組む活動

事業枠

休眠預金 2023 年度草の根活動支援事業（地域ブロック）

公募期間

2023 年 12 月 1 日（金）～2024 年 2 月 5 日（月）
（公募要項詳細を、12 月 1 日から本財団HPに掲載）

助成期間

2024 年 4 月～2027 年 2 月（3 年未満）

対象団体

- ・ 愛知、岐阜、三重、静岡、長野で、民間公益活動を行う団体（法人格の有無、法人の種類は不問）
- ・ 複数の応募団体でチームを組み、**チームとして応募することが必要**
- ・ チームは幹事役の 1 団体（幹事団体）とそれ以外の複数団体（現場団体（個人を含む））で構成

チームや各団体の役割については本チラシ裏面、および公募要項を参照

助成額

■ 1 チームに対して 2,850 万円 / 3 年間上限（選定数 3 チームを予定）

幹事団体は 550 万円 / 年で、3 年間の総額は 1,650 万円を上限
現場団体 1 団体は 100 ～ 150 万円 / 年で、3 年間の総額は 400 万円を上限
（全現場団体の 3 年間の総額は 1,200 万円を上限）

公募要項



個別相談

12/13(水)、12/16(土)、1/10(水)
13 時～17 時（各 30 分）



問合せ先

一般財団法人

中部圏地域創造ファンド (CCF)

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-5-16 愛知県林業会館 2F
【E-mail】 kusanone2023@crcdf.or.jp
【URL】 <https://www.crcdf.or.jp/>

公募説明会（オンライン）開催！

12 月 6 日（水）13:00～14:30

12 月 11 日（月）18:00～19:30

※各開催 3 日前までにお申し込みください。





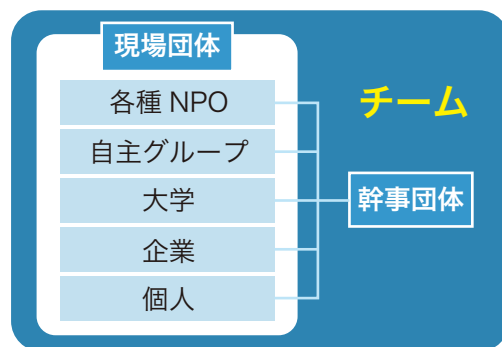
本事業の特色&キーワード解説

特色 1 チーム活動を支援!

地方都市・農山村が直面している地域課題の解決を図り、新たな豊かさを備えたコミュニティの持続的発展を目指すチーム活動を支援します。

本事業では、右表の役割を担う「幹事団体」1団体と「現場団体（個人を含む）」2団体以上（現場団体委託金総額の範囲以内）がチームを構成し、応募していただきます。現場団体の構成や数は、支援活動の内容に応じて、チームで任意に決めてください。ただし、現場団体に関わる委託金総額は上限を超えることはできません（表面参照）。

覚書を交す団体等



幹事団体

CCF と資金提供契約を結ぶ。チームのとりまとめ役・事務局・庶務の統括、事業の進捗管理およびチーム会議の運営、地域における一体的な支援活動を実践する

現場団体

幹事団体から業務委託を受ける。チームの一員として幹事団体に協力し、地域における一体的な支援活動を実践する
※支援活動に必要で役割が明確な個人も、現場団体と同様な扱いで、チームの構成団体になれます。

特色 2 コミュニティプラットフォーム (CPF) を構築しよう

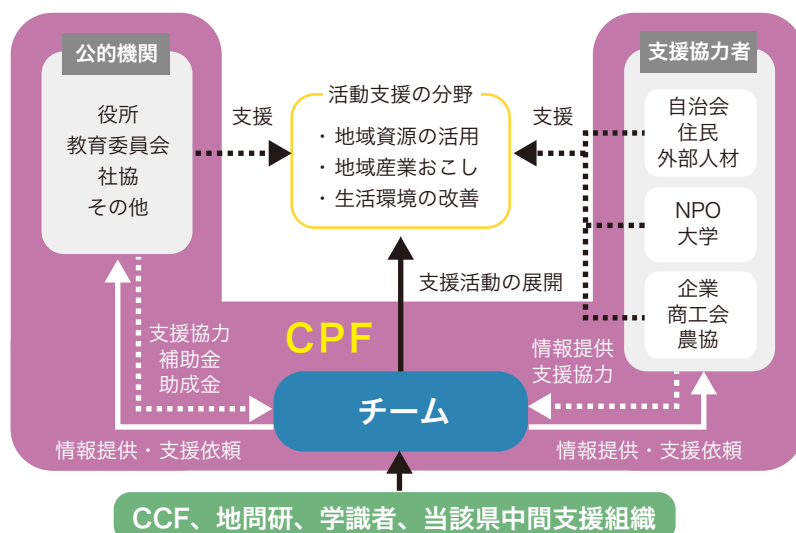
地域社会とのつながりを強化し、チームの持続的な活動を支え、事業のビジネス化も支援する仕組み（コミュニティプラットフォーム（以下：CPF））の構築に取り組んでいただきます。

CPF はチーム、地域の公的機関、支援協力者で構成され、地域社会での情報共有を促進してチームの持続的な活動を支える仕組みで、以下の様な多様なつながり機能を果たすことを期待します。

CPF とは

- ▲ 地域社会に求められる支援団体・個人の
- ▲ 具体的な活動展開のための
- ▲ 支援活動に共感し、協力可能な主体が自由に参加できる
- ▲ 行政施策の展開上も、必要性が認められる
- ▲ 事業のビジネス化も視野に入れ持続的な活動を支援する

つながりの場



特色 3 CCF が専門家と中間支援組織と共に伴走支援

中部圏地域創造ファンド (CCF) は、(一社) 地域問題研究所、ソーシャルビジネスに造詣の深い学識者、当該県の中間支援組織と連携し、助成事業を伴走支援します。